

これからの大和町議会のあり方プロジェクト

日時：令和3年11月20日（土）午後1時30分



前回の振り返り

あり方ゼミナール第1回

大和町と議会の現状

投票率：令和2年3月 46.65%

議員数18人（男性16人：女性2人） 平均年齢 63.2才

議員報酬 議長 309,000円 副議長 255,000円 議員 240,000円（共済無）
町長 761,200円 副町長 603,000円 教育長 514,500円（共済等有）

セミナー

「今後の地方議会のあり方を考える」

東北大学大学院情報科学研究科 河村和徳先生

議会改革

内なる改革・外なる改革

参加している人も、しない人もプラスになるように。

無駄と思われる議員の評価は個人の意見

今の議員ではなく、これからの議員に必要なものは？

整合性のない意見に注意

- ・定数減少 → 当選ライン上がる → 成り手不足
- ・報酬下げる → 議員になりたがらない → 成り手不足

一部分は正しくても全体正解にはならないこともある

- ・住民参加制度の浸透 ・世代による考えの違い
- ・多様な意見を議会で反映必要
- ・二代表制は無駄を内包している

フィロソフィー(あるべき姿)をどこかに決める必要性

なり手不足の議会が生じる理由を考える

- ・他に収入のある人が議員
- ・明治の名主、戦前の身銭を切る議員活動
- ・戦前は無給だった 生活給を想定していない



高齢男性ばかりが議員になった。

手当が必要だとも思わなかった。

子育て手当無し、育休無し
国民健康保険、国民年金



これからの議会に必要なものは？

議会の方向性

「アマ」？「プロ」？

チェック機能は？ 見える化は？

アマ化 日当制、矢祭町

プロ化 タブレット、ネット活用

